

# 歴史まちづくりの取組み状況について(平成30年4月～10月)

資料1

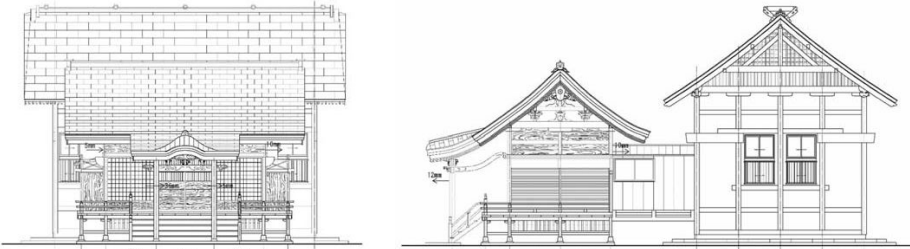
国(国土交通省・文化庁)	県	協議会・審議会等	市議会	具体化方策	関係者協議	取組み状況
<p>○平成30年5月11日～12日 歴史まちづくり法10周年 記念シンポジウム出席 (埼玉県川越市)</p> <p>○平成30年5月17日～18日 東北歴史まちづくりサミット出席 (宮城県多賀城市)</p> <p>○平成30年8月8日 歴まち認定都市との広域連携 に係る事業等の勉強会参加 (国土交通省都市局)</p> <p>○平成30年10月19日 文化庁文化財部調査官視察 (大館八幡神社覆屋改修計画)</p>	<p>○平成30年4月10日 平成30年度事業計画相談 (建設部 建築住宅課、 教育庁 文化財保護室)</p> <p>○平成30年6月22日 文化財保護行政担当研究会 (教育庁 文化財保護室)</p> <p>○平成30年10月11日 平成31年度文化財事業計画 ヒアリング (教育庁 文化財保護室)</p>	<p>○平成30年7月20日 大館市都市再興協議会開催 (都市計画マスタープラン見直し・ 立地適正化計画策定)</p> <p>○平成30年7月31日 協議会委員委嘱(人事異動) (能代河川国道事務所長)</p> <p>○平成30年10月26日 歴史的風致維持向上協議会開催 (取組み・具体化方策報告)</p> <p>○平成30年10月27日 第1回大館市歴史まちづくり 実践発表会開催</p>	<p>○平成30年6月定例会 ・歴史まちづくり事業 関連予算承認</p> <p>○平成30年7月19日 ・桜櫓館取得(建物等)説明 (建設水道常任委員会)</p> <p>○平成30年9月定例会 ・桜櫓館取得(建物等)議案承認 ・桜櫓館管理予算承認</p>	<p>○平成30年4月9日～10月12日 歴史まちづくりフォトコンテスト (あなたが残したい営みと風景)</p> <p>○平成30年4月14日 八幡神社防災施設等交付申請 (文化庁)</p> <p>○平成30年4月27日 文化遺産総合活用推進事業交付申請 (文化庁)</p> <p>○平成30年5月12日～12月1日 ヘリテージマネージャー養成講座 (全13回開催)</p> <p>○平成30年5月16日 街なみ環境整備事業交付申請 (国土交通省)</p> <p>○平成30年7月17日 歴史的風致形成建造物保存事業 補助金交付決定(八幡神社、神明社)</p> <p>○平成30年9月18日 桜櫓館取得契約締結</p> <p>○平成30年10月1日 桜櫓館市有化開始</p> <p>○平成30年10月～平成31年3月 ・大館八幡神社改修実施設計 ・桜櫓館耐震調査 ・大館神明社本殿基礎補修工事 ・大館神明社境内整備実施設計 ・桜並木通り修景整備工事</p>	<p>○平成30年4月20日～ 桜櫓館買取契約のご相談 (成田欽治さん)</p> <p>○平成30年4月28日 八幡神社の調査結果及び 基本設計を説明 (大館八幡神社氏子会)</p> <p>○平成30年5月27日 名勝地調査準備委員会設立 (鳥潟会館庭園)</p> <p>○平成30年6月5日 文化遺産総合活用推進事業 事業計画等打合せ (文化遺産総合活用まちづくり 実行委員会)</p> <p>○平成30年6月19日 桜並木通りの登記上の課題を 相談 (新富講関係者)</p> <p>○平成30年8月20日 桜並木通り修景事業説明会開催 (新富町町内会)</p> <p>○平成30年9月19日 平成31年度事業計画打合せ (文化遺産総合活用まちづくり 実行委員会)</p> <p>○平成30年10月5日 道路美化意見交換 (美化路路線/長倉町内会)</p>	<p>○平成30年4月28日～29日 奥州藤原氏を縁とした物語発信 (道の駅平泉、横手市、美郷町)</p> <p>○平成30年5月3日 春の藤原まつり出席</p> <p>○平成30年5月8日 大館鳳鳴高校2年生(出前講座)</p> <p>○平成30年5月26日 戊辰戦争激戦地巡り(歴まち散歩)</p> <p>○平成30年6月2日 戊辰戦争150周年(秋田藩北部の展開)</p> <p>○平成30年6月23日 巨大巡り(歴まち散歩)</p> <p>○平成30年7月11日 城南小6年生(出前講座)</p> <p>○平成30年7月21日 十二所城下巡り(歴まち散歩)</p> <p>○平成30年7月31日 市教職員夏季研修(出前講座)</p> <p>○平成30年8月11日 鳳凰山周辺巡り(歴まち散歩)</p> <p>○平成30年8月21日 地域連携観光振興WG出席</p> <p>○平成30年8月29日 図書館ホッとタイム(出前講座)</p> <p>○平成30年10月2～4日 ふるさと探検号(大館・比内・田代)</p> <p>○平成30年10月11日 大館南地区行政協力員(出前講座)</p> <p>○平成30年10月13日 大館城跡発掘調査現地説明会</p> <p>○平成30年10月13～14日 全県建築士会横手大会出席</p> <p>○平成30年10月18日 大館鳳鳴高校1年生(出前講座)</p>
<p>歴まち散歩</p>	 <p>5月26日(戊辰戦争激戦地巡り 扇田神明社)</p>	 <p>6月23日(巨大巡り 別所大日神社)</p>	 <p>7月21日(十二所城下巡り 茂木家墓地)</p>	<p>○平成30年10月5日 道路美化意見交換 (美化路路線/長倉町内会)</p>	<p>○平成30年8月29日 図書館ホッとタイム(出前講座)</p>	<p>○平成30年10月2～4日 ふるさと探検号(大館・比内・田代)</p>
<p>具体化方策に向けた 関係者との協議</p>	 <p>4月28日(大館八幡神社氏子会)</p>	 <p>5月27日(名勝地調査委員会 現地調査/鳥潟会館庭園)</p>	 <p>10月5日(道路美化意見交換 長倉町内会)</p>	<p>○平成30年10月13日 大館城跡発掘調査現地説明会</p>	<p>○平成30年10月13～14日 全県建築士会横手大会出席</p>	<p>○平成30年10月18日 大館鳳鳴高校1年生(出前講座)</p>
<p>歴まちに関連した 取組み状況</p>	 <p>4月28日(奥州藤原氏を縁とした 情報発信/道の駅平泉)</p>	 <p>5月12日(ヘリテージマネージャー 養成講座開講式)</p>	 <p>6月2日(戊辰戦争150周年 秋田藩北部の展開)</p>	 <p>8月29日(図書館ホッとタイム 出前講座)</p>	 <p>10月13日(大館城跡発掘調査 現地説明会)</p>	

## ○歴史的風致形成建造物整備（重要文化財大館八幡神社）

## 1. 整備スケジュール

年度	平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度	
区分	文化庁	国交省	文化庁	国交省	文化庁	国交省
覆屋	現況調査・ 基本設計		実施設計		改修工事	
拝殿・幣殿					実施設計	

## 2. 現在の大館八幡神社の形状、意匠（立面図）

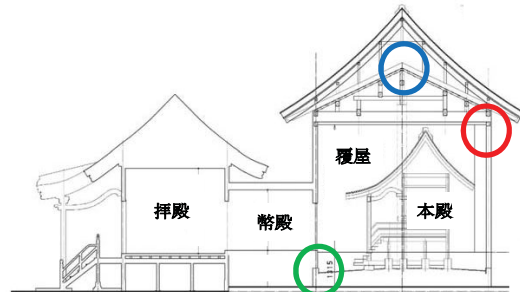


## 3. 現況調査の結果

## (当初) 主部材(土台、柱)の補強工事

- ・建物全体の腐食が著しい
- ・小屋組が不安定
- ・屋根のジャッキアップが難しい

## (変更) 覆屋を建替え（解体、新築）



土台外部(腐食状況)



柱外部(腐食状況)



覆屋根(小屋裏状況)



小屋組の仕口のズレ



親梁の腐食状況(横から)



親梁の腐食状況(上から)

## 4. 課題

- 建物の保存上の課題
  - ①覆屋は、構造的に不安定な状態である
  - ②正八幡宮の屋根と覆屋の親柱、壁柱の接触
  - ③積雪による覆屋の倒壊の恐れ
- 建物の管理上の課題
  - ④危険木により、建物がき損する恐れがある
  - ⑤建造物一体の防火対策
- 建物の活用上の課題
  - ⑥覆屋の開口部が高く、参拝者が本殿を見ることが不可能
  - ⑦幣殿から続く床板が高く、本殿を仰ぎ見ることが不可能

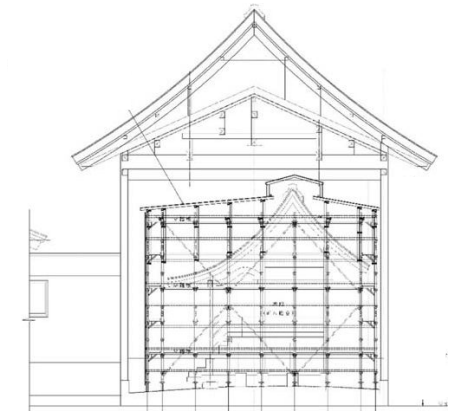
## 5. 覆屋の基本設計

## ○文化庁からの連絡事項

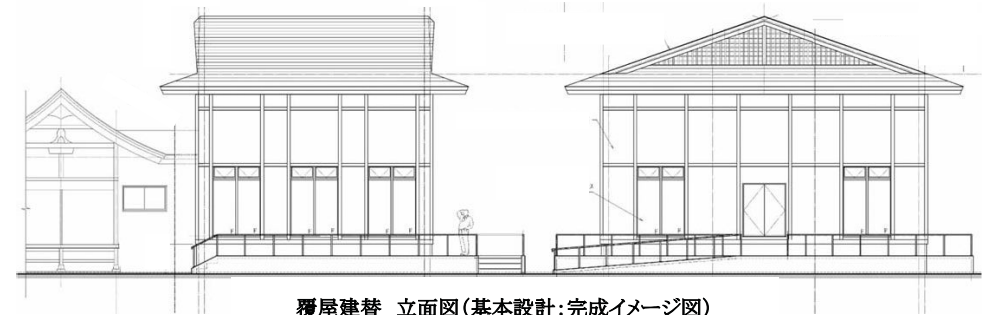
- 主要材の腐食腐朽が進んでおり、また二重屋根の構造が不安定なため、建替（解体・新築）でも支援可能である。
- 覆屋の建設にあたり、重要文化財二社を保護する養生を的確に行うこと。
- 木造の場合、主部材の規格が大きくなるため、鉄骨でも良い。
- 防火・消火対策を見直すこと。

## ○実施設計（比較検討）

比較項目	鉄骨構造	集材材構造
構造体自重・基礎形式	基礎自重 20.0t/1箇所 独立基礎 1.4m×1.8m	基礎自重 18.0t/1箇所 独立基礎 1.4m×1.6m
工事の施工性	大型クレーン搬入 厳しい 施工期間長い	10tクレーン可 木構造と取合 良好
室内環境	構造体が隠蔽し、壁内の結露が懸念	通直性・倦みの無い構造で 漆喰壁や杉田腰壁と調和



養生仮設図(単管足場組立、仮屋根張り)



覆屋建替 立面図(基本設計:完成イメージ図)

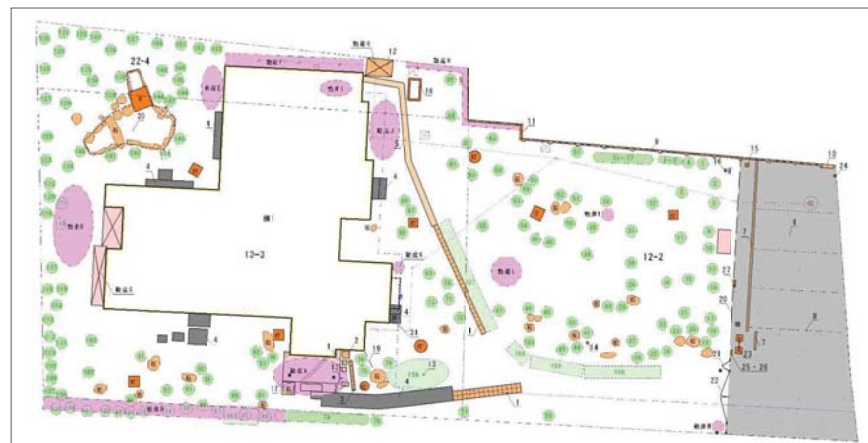
## ○歴史的風致形成建造物整備（国登録有形文化財桜櫓館）

### 1. 整備スケジュール

- (1) 平成 29 年度 用地測量、建物工作物等補償調査
- (2) 平成 30 年度 用地、建物工作物等購入  
耐震調査
- (3) 平成 31 年度 耐震改修実施設計
- (4) 平成 32 年度 耐震改修工事、外構等修景整備工事  
(建造物部会、ヘリテージマネージャー受講者の構成メンバーと今後の改修計画を策定)

### 2. 桜櫓館所有者（成田欽治氏）との譲渡契約

- (1) 土地
    - ・平成 30 年 9 月 18 日 土地売買契約を締結
    - ・平成 30 年 9 月 19 日 所有権移転完了
  - (2) 建物・工作物・立木
    - ・平成 30 年 8 月 02 日 建物等売買仮契約を締結
    - ・平成 30 年 9 月 18 日 9 月定例会(財産取得の議案)承認  
本契約の成立
    - ・平成 30 年 9 月 19 日 所有権移転完了
- ※平成 30 年 10 月 1 日～ 市有財産として管理開始



建物等配置図

棟番	構造概要	1 階床面積	2 階床面積	3 階床面積	延床面積
棟 1	木造 3 階建専用住宅	224.84 m <sup>2</sup>	80.78 m <sup>2</sup>	4.64 m <sup>2</sup>	310.26 m <sup>2</sup>

敷地面積	建築面積	用途地域	建ぺい率	容積率	建築年月
1,136.89 m <sup>2</sup>	229.94 m <sup>2</sup>	商業地域	80%(20.2%)	400%(27.3%)	昭和 8 年 11 月

### 3. 桜櫓館の管理運営(案)について

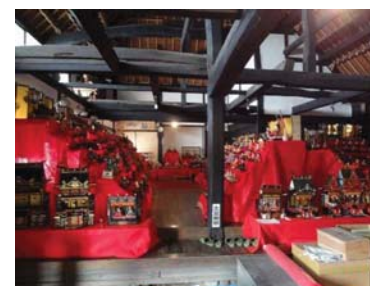
- (1) 名 称 大館市桜櫓館
- (2) 管理者 大館市長（管理部署：建設部まちづくり課）
- (3) 使用料 貸館 1 階和室のみ（使用料：400 円/1 時間）  
※見学は全館無料
- (4) 減免要件 ・国、地方公共団体又は公共的団体が主催する事業に使用するとき  
・その他市長が特別の理由があると認めたとき
- (5) 開館時間 午前 10 時～午後 4 時
- (6) 休館日 毎週月曜日（祝日に当たる場合は翌火曜日）、  
年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

### 4. 桜櫓館の今後の利活用方針（短期）

- (1) 一般公開（見学の場）
  - ・和の迎賓館として応接室として利用
  - ・現存する貴重な近代和風住宅の見学を通して、建物の良さを共有
- (2) まち歩きの出発点
  - ・重点区域、城下町エリアの「まち歩きの出発点」、まち歩きガイドの養成所
  - ・秋田大会館、桂城公園、石田ローズガーデン見学者のくつろぎの場
- (3) 歴史研究や各種活動団体の拠点（ホームグラウンド）
  - ・北羽歴史研究会、文化財保護協会、建築士会など市民団体の活動拠点
  - ・古文書研究、学習の場として
- (4) 和文化体験の出発点
  - ・着物、生け花、茶道、お琴、日本舞踊などの体験活動の出発点
- (5) 展示会等の拠点
  - ・骨董品、焼き物等の展示会の場として

### 5. 将来的な活用法（中長期）※指定管理を想定

利用者ニーズに応える施策として、国登録有形文化財「桜櫓館」の特徴やシルエットを生かしつつ、内部は多様な活用が成り立つような改修を行い、にぎわい創出を図る。



活用事例(展示会・資料館)



活用事例(飲食ブース・土産販売)

○歴史的風致形成建造物整備（大館神明社）

1. 整備スケジュール

- (1) 平成 29 年度 本殿基礎補修実施設計、境内測量設計
- (2) 平成 30 年度 本殿盛土基礎補修工事、境内整備実施設計
- (3) 平成 31 年度 曳山車通路、多目的広場を兼ねた駐車場整備
- (4) 平成 32 年度 参道、堀、柵等の修景整備
- (5) 平成 33 年度 散策路の整備

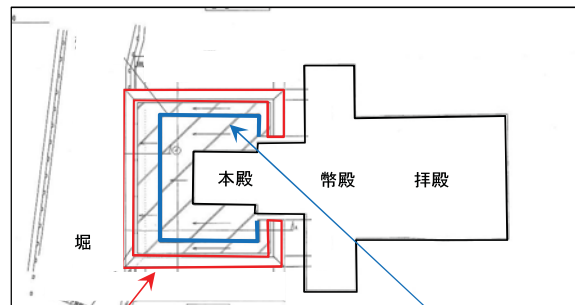
2. 本殿盛土基礎ブロックの再構築



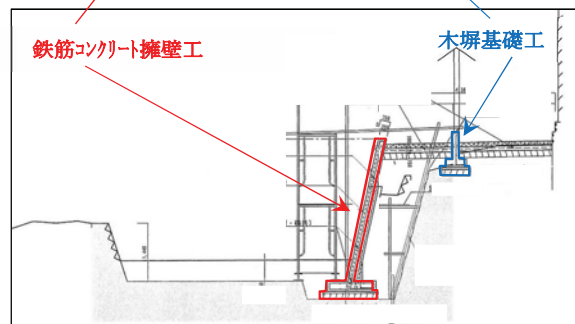
盛土基礎ブロックのクラック状況



化粧型枠を使用した表面仕上げ



(計画平面図)



(標準断面図)

3. 鎮座350年記念例祭に向けた境内整備事業



参拝する曳山車、関係者



境内に集結する各講の曳山車

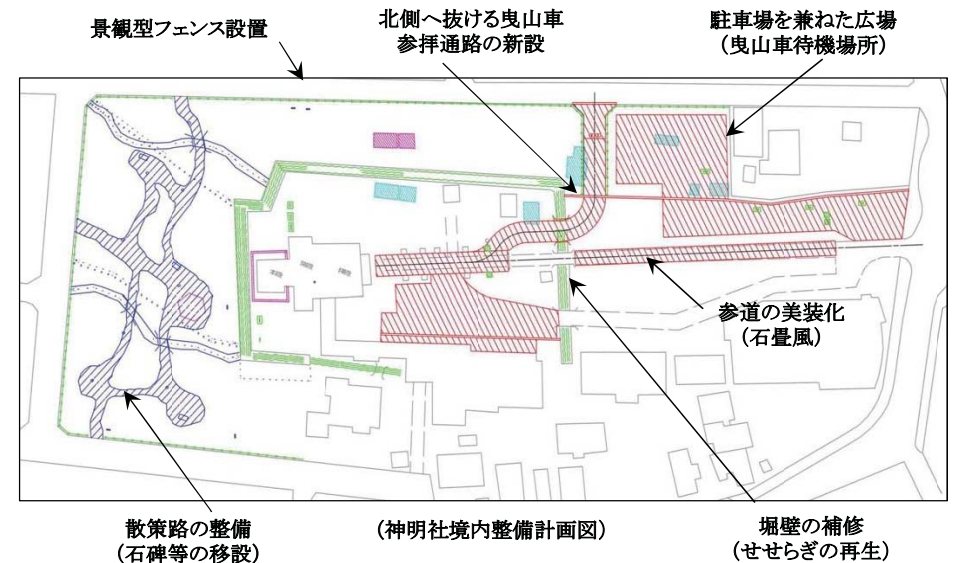


報道記事(9/11 北鹿新聞)

4. 整備目的、計画平面図

北側の市道へ通り抜ける曳山車の通路を確保や、曳山車の待機場所となる駐車場を兼ねた広場を整備することにより、曳山車の運行や来訪者の安全が図られる。

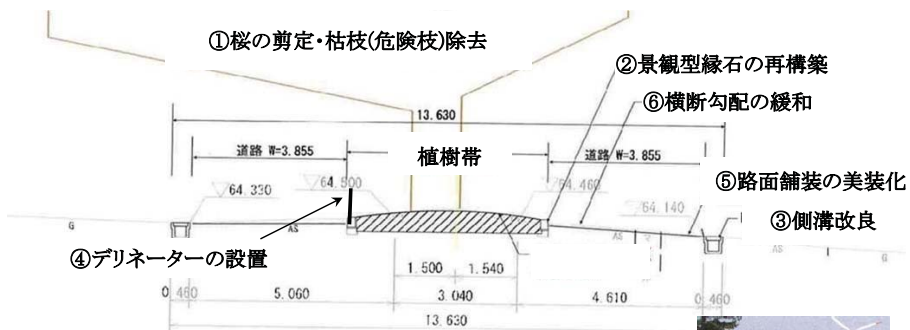
「余興奉納奉告祭」において、全ての曳山車が境内へ集結する事が可能となる。



(神明社境内整備計画図)

○道路の美化化（市道幸町1号線桜並木通りの修景）

1. 整備計画の検討資料



①桜の剪定(てんぐす病等)  
道路空間への支障枝の切り落とし



②景観型縁石、③側溝改良  
側溝の傷み大きい交換(地元要望)



④景観型デリネーター  
(ダークブラウン)



第1案(クールグレー系)



第2案(ダークグレー系)



第3案(ブラウン系)



第4案(ベージュ系)

⑤路面舗装の美化化(検討案)

○大館城下町名板標柱設置工事

1. どこでも博物館（史跡標柱整備）との連携

- (1) 標柱デザインの統一化を図る
- (2) 多言語表示QRコード（英語、韓国語、中国語(簡体)、中国語(繁体)、タイ語）
- (3) WEB情報をどこでも博物館のホームページへ掲載
- (4) どこでも博物館の標柱設置実績（平成28～29年度、26箇所）

※大館市どこでも博物館の会（商工会議所、歴史愛好家グループで構成）

外国人観光客が増える中、市内の史跡を巡るまち歩きや、郷土の歴史を学ぶ教育機会を推進するため、標柱を設置する事業に取り組んでいる。

2. 平成30年度設置予定箇所

NO.	設置予定箇所
大館城門跡(7箇所)	
①	虎門跡 (とらもんあと)
②	追手門跡 (おいてもんあと)
③	小中城門跡 (こなかじょうもんあと)
④	随時門跡 (ずいじもんあと)
⑤	搦手門跡 (ならめてもんあと)
⑥	穴門跡 (あなもんあと)
⑦	上町門跡 (うわまちもんあと)
歴史的建造物(4料亭/幸町地区)	
⑧	北秋くらぶ
⑨	末広
⑩	吉野家
⑪	濱家

3. 標柱のデザイン



片山八坂神社(平成29年度設置)  
木材・プラスチック再生複合材  
120mm×120mm×高さ1,200mm



名称、説明文(250文字程度)  
多言語(5か国語)翻訳  
QRコード付き説明板



大館城門跡位置図(大館城下絵図)

## ○三ノ丸周辺歴史的資源拠点整備事業

## 1. 事業計画

- (1) 整備目的 三ノ丸地区は、本丸跡の桂城公園に隣接しているうえ、秋田犬会館、狩野亨吉の生家跡(石田ローズガーデン)があり、多くの市民や観光客が訪れる。また、歴史的建造物の八幡神社～桜櫓館～愛宕神社を巡るルートの中継点であることから、まち歩き拠点となる。しかし、近隣に駐車場が少ないため、駐車場整備により、来訪者の利便性の向上を図る。
- (2) 課題 ①イベント開催時の駐車場の不足  
②国道7号からの右折禁止の対応  
③大型バス乗り入れ不可  
④駐車場の砂利飛散、穴の補修  
⑤道路側溝の蓋なし
- (3) 事業年度 平成31年度整備予定



駐車場整備箇所



国道7号からのアクセス

## ○文化遺産総合活用推進事業

## 1. 大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会(名簿)

委員長	長谷川 文悦	大館郷土芸能保存会会長
副委員長	石川 成	大館・北秋田建築士会会長
監事	鳥潟 宏一	大館・北秋田建築士会
会計	黒澤 功	大館神明社例祭余興奉納実行委員会
委員	釜谷 昌信	大館神明社例祭余興奉納実行委員会会長
委員	山内 俊隆	大館郷土芸能保存会
委員	芳賀 俊明	大館ばやし保存会

## 2. 平成30年度の活動状況

## (1) ヘリテージマネージャー養成講座(人材育成事業)

- ①目的 歴史的建造物の保全活用に関する知識と技術の向上、ならびに保全活用に携わる専門家の信頼性確保を目的とする。
- ②講座内容 第1回(平成30年5月12日)～第13回(平成30年12月1日)  
関係法令、建造物の調査報告、伝統工法、修復や耐震補強などを修得
- ③受講人数 26人



講習会の受講状況



建造物の調査状況(桜櫓館)

## (2) 大館囃子の講習会(後継者養成事業)

- ①目的 市指定無形民俗文化財である『大館囃子』が祭り山車の中心となるが、後継者不足の課題があり、後世へ正確に継承されることを可能とする。
- ②実施団体  
・大館神明社例祭余興奉納実行委員会  
・大館ばやし保存会



講習会の受講状況(北鹿新聞社提供)



大館歴まち大賞 53. 厳冬 薄明の参道



大館歴まち賞

6. 大ヤナギに憩う